

引用文献

- 朝日祥之 2008 「第9章 引用形式からみた使用実態」『ニュータウン言葉の形成過程に関する社会言語学的研究』ひつじ書房
- 伊豆原英子 1994 「感動詞・間投助詞・終助詞『ね・ねえ』のイントネーション—談話進行との関わりから—」『日本語教育』83
- 井上史雄 1991 『東海道沿線方言の地域差・年齢差』東京外国語大学 語学研究所
- 井上史雄・鍵水兼貴 2002 『辞典 新しい日本語』東洋書林
- 井上由貴子朗読・中井和子訳 1989 『京ことば 源氏物語』大修館書店
- 井之口有一・堀井令以知 1972 『京都語位相の調査研究』東京堂出版
- 井之口有一・堀井令以知・中井和子 1965 『尼門跡の言語生活の調査研究』風間書房
- 榎垣実 1944 「近畿方言の形容詞」『方言研究』10
- 榎垣実 1946 [1949刊の再版による。引用箇所の数もこれによる]『京言葉』高桐書院
- 榎垣実 1948 『京阪方言比較考(温古志叢書第四編)』土俗趣味社
- 榎垣実 1950 「京都方言」『国語学』4
- 榎垣実 1955 『船場言葉』近畿方言学会
- 江端義夫 2008 「敬語の補助動詞『〜テミエル』の近現代史」『国語語彙史の研究 二十七』和泉書院
- 大西拓一郎編 2002 『方言文法調査ガイドブック』科研報告書
- 岡本牧子・氏原庸子 2006 『新訂版聞いておぼえる関西(大阪) 弁入門』ひつじ書房
- 沖裕子 1991 「気づかれにくい方言—アスペクト形式『〜かける』の意味とその東西差—」『日本方言研究会第53回発表原稿集』
- 沖裕子 1996 「アスペクト形式『しかける・しておく』の意味の東西差」『日本語研究諸領域の視点 上』明治書院
- 奥田靖雄 1983 「に格の名詞と動詞とのくみあわせ」『日本語文法・連語論(資料編)』むぎ書房
- 奥村三雄 1962 「京都府方言」『近畿方言の総合的研究』三省堂
- 奥村三雄 1990 『方言国語史研究』東京堂出版

- 勝村聡子 1991 『『やんか』について—その表現機能と『ではないか』との対比—』『地域言語』 3
- 加藤正信 1973 「全国方言の敬語概観」『現代の敬語 敬語講座6』明治書院
- 金沢裕之 1986 「大阪弁における助詞の省略の動態—落語を材料として—」『計量国語学』 15-4
- 金沢裕之 1991 『二十世紀初頭の大阪口語の実態』科研報告書
- 金沢裕之 1998 『近代大阪語変遷の研究』和泉書院
- 金沢裕之・中井幸比古 1998 『初期落語SPレコードの大阪アクセント』科研報告書
- 川上葵 1963 「文末などの上昇調について」『国語研究』 16 (1995 『日本語アクセント論集』汲古書院に再録)
- 木川行央 1996 「兵庫県西脇市方言における終助詞『ガナ』と『ヤンカ』・『ヤナイカ』」『日本語研究諸領域の視点
上』明治書院
- 木川行央 2001 「関西方言における『のだ・のです』に該当する表現をめぐって」『日本語の伝統と現代』和泉書
院
- 菊地康人 1994 『敬語』角川書店
- 菊地康人 1996 『敬語再入門』丸善ライブラリー
- 岸江信介 1992 「近畿方言の動態と分布との関連」『日本語学』 1992年5月臨時増刊号
- 岸江信介・井上文子 1997 『京都市方言の動態』近畿方言研究会
- 京都府教育委員会 1987 『京都府の方言』京都府教育委員会
- 金水敏 2006 『日本語存在表現の歴史』ひつじ書房
- グループジャマシー 1998 『日本語文型辞典』くろしお出版
- 郡史郎 1997 『大阪府のことば』明治書院
- 郡史郎 2003 「イントネーション」『朝倉日本語講座3 音声・音韻』朝倉書店
- 国語調査委員会編 1906 『口語法調査報告書 上・下』国定教科書共同販売所[1986 国書刊行会復刻版による]
- 国立国語研究所 2001 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成 第11巻 京都・滋賀』国書刊行会
- 小林隆 1992 『『へ』の消長についての方言地理学的一考察』『日本語学』 1992年5月臨時増刊号
- 渋谷勝己 1993 「日本語可能表現の発展と諸相」『大阪大学文学部紀要』 33-1
- 渋谷勝己 2006 「自発・可能」『方言の文法』岩波書店
- 杉本武 2000 「無助詞格のタイプについて」『文藝言語研究 言語篇』 38 筑波大学
- 高木千恵 1999 『関西・若年層における談話データ集』科研報告書
- 高木千恵 2000 「大阪方言におけるテ形について—形容詞・名詞熟語・動詞否定形式のテ形(相当)形式—」『阪
大社会言語学研究ノート第2号』
- 高木千恵 2006 『関西若年層の話しことばにみる言語変化の諸相』『阪大日本語研究 別冊2』大阪大学大学院文
学研究科日本語学講座
- 高橋太郎 1974 「標準語の動詞と京都弁の動詞」『言語生活』 270
- 高橋太郎 1983 「動詞の条件形の後置詞化」『副用語の研究』明治書院
- 田野村忠温 1988 「否定疑問小考」『国語学』 152
- 田野村忠温 1990 『「のだ」の意味と用法』和泉書院
- 辻加代子 2004 『京都語におけるハル敬語の展開に関する社会言語学的研究』大阪大学博士論文
- 鶴岡昭夫 1979 「近代口語文章における『へ』と『に』の地域差」『中田祝夫博士功績記念 国語学論集』勉誠社
- 寺島浩子 2006 『町家の京言葉』武蔵野書院
- 豊田豊子 1978 「接続助詞『と』の用法と機能(Ⅰ)」『日本語学校論集』 5
- 豊田豊子 1979a 「発見の『と』」『日本語教育』 36
- 豊田豊子 1979b 「接続助詞『と』の用法と機能(Ⅲ)」『日本語学校論集』 6
- 豊田豊子 1982 「接続助詞『と』の用法と機能(Ⅳ)」『日本語学校論集』 9
- 豊田豊子 1983 「接続助詞『と』の用法と機能(Ⅴ)」『日本語学校論集』 10
- 中井幸比古(1987, 1988) 「京都旧市内における若年層のアクセント」(1)(2)『国語研究』 50, 51
- 中井幸比古 1993 「京都府丹波山城域言語地図(3)」『香川大学教育学部研究報告』第I部 88号
- 中井幸比古 1994 『『NHK 全国方言資料』の京都方言について』『香川大学教育学部研究報告 第1部 90』
- 中井幸比古 1996 「京阪アクセントにおける低接平坦調について」『神戸外大論叢』 47(1~4)
- 中井幸比古 1999, 2001 『方言会話資料(1)(2) 京都(1)(2)』科研報告書(中井 2002b に索引を除きテキストファイ
ル形式で収録。中井 2002b はそれ以外の会話資料の文字化テキストファイルも収録)

- 中井幸比古 2002a 『京阪系アクセント辞典』 勉誠出版
- 中井幸比古 2002b 『同データCDROM』 勉誠出版
- 中井幸比古 2002c 『京都府方言辞典』 和泉書院
- 中井幸比古 2004 「明治語の音韻」 『日本語学』 2004-9(臨増) 明治書院
- 中井幸比古 2008 「京のことば」 1-10 『東京新聞』 連載記事：①4/16 前書き、②4/23 高浜虚子「風流職法」以下3作品の京都弁、③4/30 同作品の版による京都弁の異同・修正過程、④5/14 長田幹彦の祇園物の京都弁、⑤5/21 川端康成『古都』の京都弁と版による異同・修正過程、⑥5/28 北山杉の里中川の方言、⑦6/4 ミス・ワカナの漫才SPレコードの京都弁、⑧6/11 公家言葉、⑨6/18 大村しげの随筆の文体、⑩6/25 「丸竹夷…」の最近の変化と方言変化。①⑥⑧を除き文献調査を行ったが、記事の性格上、結果のごく一部のみ提示。
- 丹羽哲也 1994 「主題提示の『って』と引用」 『人文研究』 46 第2分冊
- 沼田善子 2000 「へ格およびニ格相当の無助詞名詞句の発生と展開一方向・着点を表す名詞句を中心に一」 『空間表現と文法』 くろしお出版
- 野田尚史 1998 『『ていねいさ』からみた文章・談話の構造』 『国語学』 194
- 蓮沼昭子 1995 「対話における確認行為」 仁田義雄編『複文の研究(下)』 くろしお出版
- 服部匡 1992 「汎性語の終助詞ワについて」 『同志社女子大学学術研究年報』 43-IV
- 彦坂佳宣 1997 『尾張近辺を中心とする近世期方言の研究』 和泉書院
- 日高水穂 1995 「ナイデとナクテとズニ」 『日本語類義表現の文法(下) 複文・連文編』 くろしお出版
- 平山輝男編 1997 『京都府のことば』 明治書院
- 福井玲 1988 「疑問文の体系とその特徴について」 『日本方言研究会第47回発表原稿集』
- 堀井令以知編著 2006 『京都府ことば辞典』 おうふう
- 堀井令以知監修・白川淑 Special Adviser 2006 『もっと! もっと! 京ことばく春> (CD付)』 ネオディーダブリューエス
- 前田勇 1949 『大阪弁の研究』 朝日新聞社
- 前田勇 1961 「西部方言の語彙1 近畿」 『方言学講座 3』 東京堂
- 前田勇 1964 『近世上方語辞典』 東京堂出版
- 前田勇 1965 『上方語源辞典』 東京堂出版
- 前田直子 1991 「条件文分類の一考察」 『東京外国語大学日本語学科年報』 13
- 牧村史陽 1955 『大阪方言事典』 杉本書店
- 牧村史陽 1979 『大阪ことば事典』 講談社
- 益岡隆志・田窪行則 1987 『セルフ・マスターシリーズ3 格助詞』 くろしお出版
- 益岡隆志・田窪行則 1992 『基礎日本語文法一改訂版一』 くろしお出版
- 松岡弘監修・庵・高梨・中西・山田著 2000 『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』 スリーエーネットワーク
- 松丸真大 1999 「京都市方言における『のや』『ねん』の意味・用法の異同」 『阪大社会言語学研究ノート』 1
- 松丸真大 2001 「東京方言のジャンについて」 『阪大社会言語学研究ノート』 3
- 松丸真大 2007 「関西方言のヤンナとヨナ」 『阪大日本語研究』 19
- 村中淑子 1990 「京都語の文末の音調を探って：談話資料と内省から」 『音声言語』 4
- 森山卓郎 1994 「京都市方言の丁寧融合型尊敬形式『お～やす』」 『阪大日本語研究』 6
- 矢澤真人 1999 「場所ニ格と、へ格、へト格について」 『筑波大学「東西言語文化の類型論」特別プロジェクト研究報告書 平成10年度II』
- 矢島正浩 2006 「落語録音資料と速記本—五代目笑福亭松鶴の仮定表現の用法から—」 『国語国文学報』 64
- 矢島正浩 2007 「近世中期以降上方語・関西語における当為表現の推移」 『国語国文』 76-4
- 矢島正浩 2008 「近世中期以降上方語・関西語における『評価的複合形式』の推移」 『国語と国文学』 2008年2月号
- 山部順治 2008 「西日本方言における、補助動詞『おく』の非意志的構文の成立と多様化」 『ノートルダム清心女子大学紀要 日本語・日本文学編』 32-1
- 和田実 1955 「高砂」 『東条操先生古稀祝賀論文集』 近畿方言学会
- 和田実 1959 「兵庫県高砂市伊保町方言」 『日本方言の記述的研究』 明治書院
- 和田実 1961 「大阪」 『方言学講座 3』 東京堂
- 和田実 1980 「関西弁における母音の音訛」 『音声の研究』 19

和田実 1984 「辞アクセントの記号化」『金田一春彦博士古稀記念論文集 第二巻 言語学編』三省堂
渡辺友左 1983 「へ格の名詞と動詞とのくみあわせ」『日本語文法・連語論(資料編)』むぎ書房
『日本国語大辞典 第2版』小学館

(2008年9月21日最終稿)
